

公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第138号 2026年3月18日 発行



今年度の振り返りと来年度に向けて

公益社団法人 石川県作業療法士会 副会長 合歡垣 紗耶香
(芳珠記念病院)

2025年度は、6月から米田会長のもと新体制へと移行した。新しい運営体制を構築するにあたり、様々なツールやAIの導入により県士会運営の効率化を図った。新体制役員から広く県士会運営における声を収集し、役員一人ひとりの視点や課題意識を共有できたことは、今後の運営改善に向けた大きな基盤となった。また、役員間の情報共有を円滑にする業務用コミュニケーションツールを導入したことで、日々の連絡や意見交換が活発になり、役員同士の連携がより行いやすくなったと感じている。さらに、会費のオンライン決済システムを導入し会員管理の効率化を図るとともに、登録会員への一斉メール配信が可能となったことで、必要な情報を会員に届けられる体制が整った。このメール配信は、今年度の大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練でも活用し、例年より多くの会員の安否確認につながった。システム導入・運営に尽力してくれた財務部・情報通信委員会に感謝したい。

会員の作業療法学術・実践力向上のため、各領域における研修会、第33回石川県作業療法学会を開催した。近年参加者の減少が課題だが、会員の興味が高いテーマでは多くの参加があり、学びたい内容を丁寧に把握し企画に反映することの重要性を改めて感じた。来年度も実践に活かせる学びの場を提供するとともに、キャリアラダーの整備や相談会など、会員のキャリア形成を支える取り組みも継続していきたい。また、来年度は能登半島地震後初めて七尾市で石川県作業療法学会を開催するべく、永井学会長のもと準備を進めている。多くの会員に足を運ん

でいただき、今の能登を知るとともに領域に限らず有意義な学びの場となることを願っている。

地域貢献活動においては、障害のある方がスポーツを楽しむ参加の機会として「リハビリテーション・スポーツフェス2025」の開催、「キッサケアいしかわ」における小中学生への作業療法士の仕事の啓発、金沢・能登での中高生と高齢者の交流会といった事業を展開した。また、日本作業療法士協会との連携も、災害対策、倫理対応体制の構築、地域支援事業など、時代の変化に合わせてより密になってきている。被災地の復興を含め、地域に根ざした活動の重要性を痛感するとともに、そのような活動に資する人材育成と体制構築が急務であり、会員同士の顔の見える関係や、つながりづくりが不可欠であると感じている。次年度はさらにネットワークづくりに対応していきたい。

県民から信頼され、求められる職能団体であるためには「会員の組織率向上」は重要な課題である。そのためにも、今年度の運営における取り組みを継続し、まず役員が無理なく活動できる体制を整え、風通しの良い運営体制を目指していきたい。そして、会員の意見を丁寧に吸い上げ、参加したいと思える県士会運営を実現していきたい。

石川県作業療法士会を築いてこられた諸先輩方の志を受け継ぎ、時代の要請に合わせてさらに発展させていけるよう、役員一同で取り組んでいく。今後とも、会員の皆様とともに歩む県士会づくりに、一層のお力添えをいただけるようお願いしたい。

シリーズ能登半島地震 災害対策研修会

災害対策委員会 理事 市川 翔悟
(河北中央病院)

2月21日(土)、災害対策研修会を開催した。講師として、岩手医科大学 衛生学公衆衛生学講座／岩手県作業療法士会 副会長の高梨信之先生をお招きし、「東日本大震災後の疫学研究から考える、長期的な災害支援の展望～災害支援における作業療法士の役割～」と題したご講演をいただいた。

講演では、東日本大震災後の長期的な疫学研究の結果をもとに、被災者と非被災者の比較から、災害が健康へ及ぼす影響についてご説明いただいた。また、その中で作業療法士が果たすべき役割についても示された。特に印象的であったのは、「復興のゴールはまだ先にある。」「行政との関係構築が重要である。」という点である。能登半島地震を経験した今、作業療法士として何ができるのか、今後何を継続していくべきかを改めて考える機会となった。

続いて、当会理事で町立富

来病院の加藤孝之先生より、復興リハビリテーションの実践報告をいただいた。発災直後から現在に至るまでの取り組みと今後の課題について共有いただき、住民の自助・互助の意識を育むこと、そして継続して関わり続けることの重要性をご教示いただいた。

お二人の講演を通し、災害対策は特別な取り組みではなく、日常の延長線上にあるものが大切であると実感した。今後も士会員の意識向上につながる活動に継続して取り組んでいきたい。



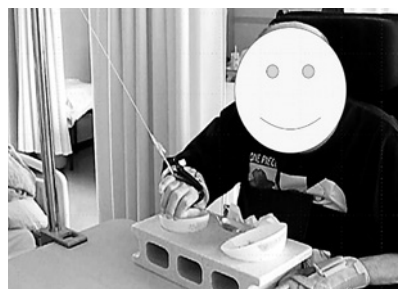
作業療法士による生活を変える小さな工夫を見て・触れてみよう！ ～第34回石川県作業療法学会 生活行為工夫情報コーナー設置決定～

福祉機器部理事 東 ひとみ
(石川中央保健福祉センター 福祉相談部)

令和3年度より、日本OT協会が実施する、生活行為の課題解決に向けた工夫情報等を集積、提供することを目的とした生活行為工夫情報事業に参加している。本事業は、会員が福祉用具相談支援システムに登録すると、他県の一部も含めた生活行為の課題を解決した工夫情報を100事例以上閲覧できる。まずは福祉用具相談支援システムに登録し、様々な工夫情報から日々の業務に役立ててほしいところだが、今年度当部が実施した会員への調査結果から、未登録会員だけでなく、登録済の会員も十分に活用していないことが分かった。そこで、第34回石川県作業療法学会にて、事業紹介および登録された工夫作品を展示する場を設けることになった。

現在企画中であるが、体験コーナーも検討している。学会参加の折には是非、足を運んでほしい。

また、本事業は、登録OT、認定OT等を目指す会員の一助となるよう、令和5年度から事例投稿が日本OT協会生涯教育制度の県士会裁量ポイント(2ポイント)対象として承認を得ている。登録完了まで当部担当者がメールを通してサポートしているため、経験年数、担当領域問わず、事例投稿を待っている。



ID1722



ID2042



ID1721



第34回石川県作業療法学会のご案内

次期学会長 永井 亜希子
(恵寿総合病院)

迷ったり、悩んだり…していないだろうか？

第34回 石川県作業療法学会 in 七尾で開催する「作業療法のみかた”をひろげる～味方として 見方を変え 診方を磨く～」では、迷いを払拭できる一助になる企画を考え、開催に向け準備を進めている。

企画1 事例をまとめて発表につなげるために、「あなたの臨床に眠る『タネ』を見つけよう」と題した相談の場を設けている。会員の中には、

- ・「どのような内容を発表すればよいのだろうか」
- ・「このテーマでも発表してよいのだろうか」
- ・「事例はあるが、まとめ方がわからない」

といった悩みを抱えている方も多くと考える。そのような中、今現在、数名の方がこの企画に応募してくれている。実行委員から連絡をとり、事例で迷っていることやスライド作成をどのように進めていくか相談し、最適解を見つけ出す作業を行っている。

この相談の場が、相談者の味方となり、発表への一歩を支える場となることを期待している。まず、迷っている方は、ぜひ相談していただきたい。

相談フォームには、名前・メールアドレス・所属・会員番号・相談内容・希望する連絡手段(メール/オンライン/電話/対面)・学会への意見・質問を記入していただければ、後日担当者から連絡が届く手順となっている。QRコードまたはURLにアクセスし、送信していただきたい。

会員の皆様の一歩を後押しする仕組みとなることを願っている。

企画2 日本離床学会とのコラボで講演を企画した。「精神科OT・小児OTも必見!! “動かしていいか迷う”を解決する!! 安全に動かすための血液データの診方」と題し、講演をお願いしている。「離床」という言葉は、身体障害領域に特化した支援を想起させがちである。しかし、精神疾患のある方においても、抑うつ状態、陰性症状による社会性の低下、薬剤による鎮静、さらには身体拘束や隔離などを背景に離床が困難になっていることが多くある、と言われている。また、小児領域では、重症児者にみられる無動による身体機能低下を少しでも遅らせるための関わりが、結果として離床支援につながるという意見も聞かれる。

今回は、検査データ/バイタル等を根拠とした「離床の安全性評価(GOサインの判断軸)」から、「安全に動かすための評価の考え方」「どのような根拠でGO判断をするか」という観点で講演をして頂く。現場では離床の判断に迷う場面は多いが、離床可否の判断に自信が持てるものと考え。多くの方に是非、聴講をしていただきたい。

また、今学会ではSNSにて関連情報を随時発信している。ぜひフォロー・閲覧し、学会気分を高めていただきたい。

なお、本学会はオンデマンド配信も予定しているため、多くの会員の参加を心よりお待ちしております。

スマホで簡単申し込み完了！



<https://forms.gle/XcPAsLv2PTZSsCib7>



X



Instagram



Facebook

令和7年度 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会(石川県講習会)を終えて

石川県作業療法教育協議会 種本 美雪

(専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー)

1. 指導者講習会

今年度は令和8年1月24日(土)・25(日)、オンラインにて開催した。本研修会は作業療法士免許取得後、実務経験4年以上の方から受講可能である。今回の参加者は17名と少ない状況ではあったが、とても充実した研修会となった。3グループ編成のため、全ての演習において全てのグループが発表するという内容ではあったが、タイトなスケジュールにも関わらず活発な議論がなされ、オブザーバーで参加している運営側にとっても実りのある内容となった。改めて参加いただいた方および研修会へ協力いただいた皆様に感謝申し上げる。

次年度以降の開催方法や形態などは検討中であるが、学生の臨床教育に携わる場合は必須の研修である。また本会の研修日程が合わない場合は、他OT県士会や全国リハビリテーション学校協会主催においても開催されており参加可能である。いずれかの形で是非多くの方に受講いただきたい。

2. アドバンス研修会

今年度は「リハビリテーションと栄養」というテーマで実施した。学生への臨床教育を行なう上では、臨床実習指導者は常に指導技術や臨床技術の研鑽が求められる。そのため、本会では次年度以降も引き続き研修会等を検討していく予定である。

決まり次第、石川県作業療法士会HPにて掲載していく。是非多くの指導者の方に学びを深めていただきたい。



2026.1.25 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会

スキルアップセミナー「高齢期の作業療法の学びを深める」研修会に参加して

二木 三菜子

(ろうけん桜並木)

令和8年2月1日(日)、雪景色を望む金沢リハビリテーションアカデミーにて、広島から講師の先生をお招きし、現地及び、県外からも多数迎えたオンラインとの総参加者84名で、ハイブリッド研修会が開催された。高齢期支援の専門家である県立広島大学教授の久野真矢先生に、「高齢者の認知レベルに合わせた作業と環境へのアプローチ」と題した講演を行っていただいた。

今回講演を拝聴し、先生が研究し実証された認知レベルと日常生活能力の関係について学ぶことができた。またそのモデルに基づいた介入方法についても事例を通して紹介していただき、臨床に活かしていくことができると感じた大変興味深い内容であった。聴講後のグループディスカッションでは、「新しい視点をもてた」「今までの臨床経験からも納得できた」など参加者同士で今回の学びや発見を共有し合った。明日からの臨床に活かす1アクションとしてそれ

ぞれ意見を出し合い、「先生の書籍を参考にして対象者の活動を選択したい」という意見や、住環境へのアプローチとしてお話いただいた内容を「作業療法室に今すぐ取り入れたい」という意見などが聞かれ、自分の臨床における悩みを打ち明けながら活発に意見交換する機会を得た。

講演後のミニレクチャーでは、加賀のぞみ園の作業療法士 中森清孝先生に「認知症の短期集中リハの訪問加算について」を講義していただき、また、石川県立こころの病院の作業療法士 荻野大樹先生と林玲子先生には、病院での認知症に対する作業療法、訪問での実践報告について具体的な取り組みを交えて紹介していただいた。認知症の訪問リハビリは、今後さらなる展開が望まれており、参加者は実施する上でのポイントなどを学んだ。

*令和7年度石川県高度・専門医療人材養成支援事業の補助を受けて開催



第24回東海北陸作業療法学会に参加して

川端 ひかり

(恵寿総合病院)

令和8年1月10日、20日にウインクあいちで開催された第24回東海北陸作業療法学会に参加した。本学会のテーマは「若い仲間たちへ～『十人十色の作業療法』を考える～」であり、幅広い分野・領域における講演やセミナーが開催されていた。自身の興味や関心のある分野を中心に参加することができ、有意義な学会参加となった。

今回、回復期における高次脳機能障害患者への作業療法介入について、ポスター発表を行った。発表準備を通して、自身の臨床実践を客観的に振り返る機会となり、病態理解や患者の全体像を整理することの難しさ、ならびに適切な目標設定の重要性を再認識した。また、他施設の事例発表や講演を聴講し、作業療法士が多様な分野で専門性を発揮して臨床に取り組んでいることを学んだ。今後は、作業療法の必要性や意義を他職種にも伝えられるような介入を実践していきたいと考える。今後も研鑽を重ね、学会で得た学びを臨床に活かしていきたい。



発達障害支援部主催の研修会を実施して

発達障害支援部 副部長 大岩 瑞枝

(市立輪島病院)

令和8年2月15日(日)、金沢こども医療福祉センターにて、発達障害支援部研修会「児童発達支援・放課後等デイサービス事業所で働くOTの視点と実践」を開催した。現地12名、オンライン3名、計15名の参加があった。

第一部では、講師の加賀地域医療支援センターの水谷仁美先生、ネクストステップの杉本佑美先生より、施設の概要や業務内容、具体的なOTの関わりについてお話いただいた。第二部では、グループで事例の支援展開について検討した。

これらの講義や事例検討を通して、改めて児童福祉領域におけるOTの役割と専門性について考える機会となった。児童福祉領域のOTは個別性と集団性の両立に加え、多職種連携による包括的な支援が求められる。一方で、個別療育のイメージが根強く、地域や他職種からの認知度や専門性・役割の理解は十

分でないことも多い。

そのような現状に対し、講義では、各職種の視点や専門性が活かされる円滑なコミュニケーションの仕組み作りの他、チーム内で共有している評価や支援成果を可視化したツールや障害特性を伝えるためのガイドの紹介があった。試行錯誤の中で行ってきたチーム作りの具体的な工夫やプロセスを知ることができ、どの分野にも欠かすことのできない「多職種連携」を振り返るきっかけとなった。

児童福祉領域のみならず発達障害領域のOTは、需要が高まっている一方で人材不足が課題である。OTの視点や専門性をチームで共有・実践していく仕組みが、課題解決の一助にもなると感じた。

お忙しい中、貴重なご講義くださった水谷先生、杉本先生には、心から感謝を申し上げる。

「中高生と高齢者の交流会」を通じた地域づくり

事業部 理事 高多 真裕美

(金沢脳神経外科病院)

今年度第4回目の交流会は、令和8年2月14日、金沢市地域包括支援センターとびうめにて開催された。当日は晴天にも恵まれ、地域高齢者5名、高校生6名が参加した。本交流会では、スマートフォンやタブレットを活用し、世代間交流を通して生活課題の解決を図ることを目的としている。家族への写真送信やビデオ通話のエフェクト機能、地図アプリや電子決済、お薬手帳登録など、日常生活に直結する操作に関する質問に対し、高校生が丁寧に助言する姿が見られた。

本事業は、高齢者支援にとどまらず、高校生が地域の実情に触れ多世代と関わる機会ともなっており、キャリア教育の一環としての意義も有している。世代を超えて支え合う活動として、地域共生社会の実現にもつながる取組である。

令和8年度も復興支援の一環として本事業を継続し、高齢者と若者が主体となる地域づくりを作業療法の視点から支援していく。さらに、地域主体の取組として展開されることを見据え、関係機関と連携しながら仕組みづくりを進めていく。



交流会の様子

令和7年度 生活行為向上推進委員会 MTDLP全体研修会 『精神と身体の複合疾患事例から学ぶ明日から実践できる マネジメントのポイント』に参加して

精神医療部 副部長 榊原 隆義

(社会福祉法人金沢市民生協会 ときわ病院)

令和8年2月22日(日)に、ものづくり会館にて開催されたMTDLP全体研修会に参加した。はじめに今回の事例を取り上げたきっかけや、石川県立こころの病院での作業療法の内容を紹介いただいた後にMTDLPを用いた事例検討を進めた。検討事項やMTDLPの各シートの作成については全体を一気に進めるのではなく、手順毎に1つずつ丁寧にわかりやすくレクチャーしていただけたことで、MTDLPの思考やプロセスについてあらためて整理することができた。

グループワークでは現地参加ということもあり非常にスムーズかつタイムリーにやりとりができ、対面形式ならではの利点を実感した。精神分野で働く私にとって、他分野の先生方との交流は、多角的な視点や考え方を学ぶ貴重な機会となり大変刺激を受けた。

事例検討のケースは、精神疾患以外にも内科疾患、長期入院といった精神分野に従事する作業療法士に

とってイメージしやすいケースを紹介頂き、自身の担当患者と重ね合わせながら具体的な支援を検討することができた。日頃、なかなか実践できていなかったMTDLPを今回の学びを機に積極的に取り組んでいけたらと感じた。



能登支部

恵寿総合病院 北谷 渉

令和8年2月7日(土)に事例検討会と研修会を開催した。研修会では、「在宅生活を送るがん患者に関わる上で作業療法士が知っておくべき知識」として、藤田医院の藤田晋宏先生と訪問看護ステーションあわらの小堀慶子看護師からご講義いただいた。がん患者に対する基礎知識から、多職種連携、役割の再獲得といったOTとして必要なことを参加者が再認識し、明日からの実践につながる有意義な研修となった。



加賀支部

片山津温泉・丘の上病院 西村 幸盛

今年度の加賀支部の活動も皆様の参加と協力のもと有益な活動とすることが出来た。次年度は生涯学習の制度変更に伴い事例検討会の開催回数が減少するため、各支部それぞれ年1回の開催になる予定である。頻度は減少するがコロナ禍より主流になったオンラインの利便性を享受することで、どの支部の検討会でも移動の手間なく参加することが可能となっている。加賀支部は、8月に対面とオンラインのハイブリッド形式で開催予定である。発表を予定している方は各支部の開催予定を確認し、意欲的に参加していただきたい。

金沢西支部

石川県リハビリテーションセンター 長原 美穂

今年度の金沢西支部最後の事業となる第3回事例検討会(2月25日)はオンラインにて開催され、7事例の報告があった。予定数を超える報告希望があり、やむなくお断りした方もおられた。来年度、金沢西支部では6月の土日にハイブリッド形式での開催を予定している。事例報告に加えて、交流の機会も設けたいと考えている。生涯教育制度の移行期間最後の年となるため、さらに事例報告の希望者が増えることが予想される。お早めに申し込みいただければ幸いである。

金沢東支部

金沢大学附属病院 仁木 裕也

2月6日に今年度第3回事例検討会が開催された。6事例の報告があり、いずれの演題においても活発な意見交換が行われた。また、今回は金沢大学附属病院の西悦子氏より小児義手に関するミニレクチャーがあり、北陸では大変珍しい貴重なお話を伺うことができた。東京大学、福井大学とのコラボレーションや多職種協業、助成金に関する内容など日頃の臨床ではなかなか経験できない貴重な講義であったと感じた。

金沢東支部では、情報交換や支部内の連絡網としてLINEオープンチャットを活用している。まだ利用されていない会員の皆様には、ぜひご活用いただきたい。



◆◆◆令和7年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第5回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和8年1月20日(火) 19時00分～21時00分 西泉事務所および Zoom使用によるWeb会議
2. 出席：米田、桂、合歓垣、堀江、東、菊池、(理事6名 以上会場)、永井、酒野、五十嵐、高多、市川、吉田、加藤、鈴木、種本(理事9名) 北谷、仁木、長原、西村(支部長4名) (以上Zoom) 書記：山本(Zoom) 濱岸(会場)
欠席：中森

3. 議事 【審議事項】

《執行部》令和8年度以降の方針・組織改編について説明

事例検討会の見直し：各支部年1回(年間4回) Zoom開催を基本とし、県内どこからでも参加可能。 **承認**

《福祉機器部》第5回生活行為工夫情報コンテストの登録事例は1例のみ応募、2月末締め切り。

事例数が少ない場合は募集期間延長してもよいか。 **保留**

生活行為工夫事業、コンテストのPRを県学会でPR時間もしくは作品展示の場所を設けてもよいか。 **承認**

《財務部》被災者の会費免除は今年度の申請分の受付を終え、処理も完了。 **承認**

来年度も実施するのか。 **対象を限定して継続**

《事務部》既存の支部PCはOS更新の対応が困難なため、計3台(能登・加賀・金沢支部)を購入。 **承認**

《広報部》ニュース138号の割り付け案について。発行予定3/18(水)原稿締め切り予定2/12。 **承認**

ニュースのPDF版のカラー印刷 **継続審議** 広報活動イベントへの出展依頼について、今回は出典しない **承認**

《学術部》第34回石川県作業療法士学会 参加費、講師謝金について **継続審議**

【報告議案】

各部、委員会からの報告があった。

＜事務局からお願い＞

令和7年度の会費未納の方は速やかに納付ください。

手続きは今年度からWEBで行っています。

https://www.kaihipay.jp/forms?form_code=4516817599764572



インフォメーション

令和8年度 会費納入についてのお知らせ

- ・ **継続** 石川県作業療法士会年会費：8,000円
- ・ **新規** 4月以降に新規入会者の年会費：8,000円
- 年会費納入方法は会費ペイから自動引き落としになります。次年度の決済方法を登録していない方は登録して下さい。(自動継続でメールで案内があります)。
- 令和8年度新会員の皆様は会費ペイへの登録が石川県作業療法士会への入会登録となるので、忘れずに登録してください。各職場の責任者の方は該当者への連絡をお願い致します。

職場変更・自宅住所変更がある場合は届出もお忘れなく！！

《変更手続きはWEBでお願いいたします。》

県士会ホームページ (<http://www.ishikawa-ot.or.jp>) より
『会員の皆様へ』 (スマホの場合は右上のメニュー)
→『各種手続き』→『入会・異動・退会手続き』へ

日本作業療法士協会とお間違えの無いようご注意ください。

お問い合わせ先(公社)石川県作業療法士会 事務局

E-mail : jimukyoku@ishikawa-ot.or.jp

FAX : 076-259-0681

県士会ホームページQRコード



令和8年度
公益社団法人
石川県作業療法士協会総会(予定)
～表彰式典・新人歓迎会～

日程：6月14日(日)
場所：KKRホテル金沢
〒920-0912 石川県金沢市大手町2-32
TEL 076-264-3261
※状況によっては変更あり
※例年と異なり日曜開催になります。
ご注意ください。

大学院で学んで 保健・医療・福祉、教育の リハビリテーション関連領域の リーダーを目指しませんか

多分野融合型の教育・研究体制
働きながら学べるオンライン遠隔講義や
昼夜開講制度、長期履修制度
授業料や奨学金制度など
経済的負担にも配慮



総合リハビリテーション学研究科
総合リハビリテーション学専攻(修士課程)

詳細は本学HPを
ご確認ください



〒924-8511
石川県白山市笠間町1200番地
電話 (076) 276-4400 (代)

あらゆる人々が輝く社会を
実現するために
サンウェルズは
進化と変化を続けます。

SUNWELS

全国に続々展開中！
パーキンソン病専門ホーム **PDハウス**

- 1 専門医監修の
リハビリプログラム
- 2 脳神経内科医による
訪問診療
- 3 お看取りまで対応
24時間の訪問看護体制

北陸エリア開設一覧 ※2025年5月末時点

石川県	富山県	新潟県
PDハウス白山 2018.06 OPEN	PDハウス秋吉 2022.10 OPEN	PDハウス新潟紫竹山 2024.10 OPEN
PDハウス小坂 2018.12 OPEN	PDハウス戸板 2023.04 OPEN	

リニューアルしたHPで
最新情報を随時発信中！

株式会社
サンウェルズ

ご入居・お問い合わせ窓口 | 受付時間 9:00-17:00
0120-540-367

HPはこちら

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人財団董仙会
学校法人 金城学園

B会員

学校法人 センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会 青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
医療法人社団和宏会

C会員

医療法人社団澄鈴会栗津神経サナトリウム
社会福祉法人恩賜財団済生会石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団千木福久会

医療法人積仁会
金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院
珠洲市総合病院
医療法人社団和楽仁芳珠記念病院
医療法人社団 竜山会 金沢古府記念病院
医療法人社団持木会 柳田温泉病院
医療法人社団 光仁会 木島病院
医療法人社団橘会整形外科米澤病院
宇野酸素株式会社
株式会社金沢義肢製作所
株式会社トミキライフケア
エア・ウォーター・リンク株式会社 北陸支店
セントラルメディカル株式会社
株式会社 メディベック
株式会社 サンウェルズ

D会員

有限会社 さわやか金沢



県士会では会費ペイシステムを用いて全会員に向けてメール配信を実施しております(定期配信は毎週火曜日)。重要事項を送信することもありますので、確実にメールが受信できるように確認をお願いいたします。詳細・メールアドレス変更等については県士会ホームページをご参照ください。

県士会Web QRコード▶



会員数

会員数 836名(令和8年2月12日現在) 賛助会員 42施設・企業

認定作業療法士 45名(令和8年2月12日現在) 専門作業療法士 4名(令和8年2月12日現在)

編集後記

今年は七尾市で石川県作業療法学会が開催される。ちょうど2年前のこの号で、増頁して能登半島地震を伝えたことを想うと感慨深い。去年のこの号より「シリーズ能登半島地震」の連載も始まり、常に取り組みをお伝えしてきた。職場では、元旦よりDMAT、職場に事務局があるJRAT、その後は県の復興事業参加、終了後はNPO法人ピースウィンズ・ジャパンに協力した。国や県への協力が主であったが、4月からは独自の珠洲市医療支援イベントを立ち上げる。医療職に加え、学生も参加予定である。復興フェイズに移り、人も形も変化しつつある。それでも変わらぬものは、地元の途切れぬ支援に違いない。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：酒野直樹、五十嵐満哉、川口朋子、藤田隆司、寺井利夫、萬貴裕、太田哲生、岩田望、網谷郁美、北野早紀、竹中朋也、仲佐東、上野玲子、小川正人、宮田真由美、竹村健太郎、増田司、南澁太

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：米田貢 印刷：ヨシダ印刷株式会社